

公表: 令和4年2月25日

事業所名: 放課後等デイサービスらじぴあ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4		限られたスペースなので、取り組む課題等によって、密にならないよう、分散して対応できるようにしております。	身体を動かす活動や、イベントの際は、空間を有効に使う工夫が必要と考えております。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	1		OT・学校教諭・保育士等の専門職を配置しています。	専門的視点から、関わりが行えるような支援を行っていきたくと思います。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4		室内はほぼバリアフリーですが、外玄関などはあえて一部バリアフリーにし、リハビリの一環として活用しています。	常に、子供達にとってわかりやすく活動しやすい場なのかを振り返りながら取り組んで参ります。トイレ等の手すりについては、今後検討して参ります。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			都度話し合いを行い、その子にあった目標・関わりを心掛けています。	今後、担当制を取り入れ、PDCAサイクルを考慮しチームで話し合いながら取り組みを進めていきたくと思います。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				内容を精査し、より良い関わりができるよう、取り組んで参ります。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				ホームページ上で公開しております。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2			第三者評価の活用も検討していきたくと思います。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			コロナ禍のため、外部研修は控えめにし、可能な範囲で、リモートの研修を取り入れたり、検討会のような機会を設けるようにしています。	社会情勢も見ながら、継続して様々な内容の研修の受講に取り組んで参ります。
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			保護者様、相談支援専門員、学校、医療機関等との可能な範囲での連携を図り、得られたニーズを分析し、計画の作成を行っています。	様々な情報を基に、子供さんの主な課題に対する支援を保護者の皆様と一緒に考えていきます。	

適切な支援の提供

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		1	事業所内で統一したアセスメントツールを活用しています。	継続して、わかりやすく使用しやすいアセスメントツールを検討して参ります。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			都度会議を開催し、専門性を発揮しつつ、チームとしてプログラムを立案しております。	今後も継続して参ります。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			子供さんの変化を見ながら、柔軟にプログラムを展開しています。	課題や目的にあったプログラムを増やしていきたいと思えます。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			子供さんと一緒に時間割を作成したり、普段なかなか取り組めない課題に取り組んだりしながら支援しております。	平日、休日、長期休暇に依りての対応を継続して参ります。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			子供さんの状況に応じて、個別・集団活動を組み合わせた計画を作成しております。	今後も、様々な活動を導入できるようにして参ります。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝や昼に、職員全員が情報を共有できるよう心がけています。	今後も継続して参ります。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2		支援終了後、職員間で話し合い、気付いた点を共有しています。しかし、送迎に時間がかかる場合もあり、皆が参加できない難しさも感じます。そういった場合は、次の日の朝に打ち合わせを行っております。	効率的に打ち合わせが行えるように、工夫して参ります。支援終了後の振り返りが難しい場合は、翌日の朝などに実施しております。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			日々の支援に関する記録を継続していきます。	短時間で内容の濃い記録を目指して取り組んで参ります。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しをしています。	漏れがないよう、期間の把握等をしっかりしていきたいと思えます。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			基本活動のア～エに取り組んでおります。	「ガイドライン」に基づく考え方や具体的支援の方法等については、当たり前のように取り組んでおりますが、常に内容を深めていきたいと思えます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			担当制を導入し、会議へ参加するようしております。	担当制にすることで、スタッフの能力向上に結び付いていることから、このまま継続して行きたいと思えます。

⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			適時、学校の担任や保護者様を通して、確認と調整を行っております。	継続して、連携を密にできるようにしていきたいと思っております。
㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1		保護者経由の情報交換が多いですが、様々な手段を活用しながら、主治医等と連携し、支援させて頂いております。	まだまだ連携の不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2		可能な範囲になってはいますが、情報を得るように心がけております。	必要に応じて、園等に対して働きかけていければと思っています。
㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1	これまで、移行される方は経験しておりません。	数年後に予想されることから、その頃には情報提供を実施していきたいと思っております。
㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		すでに専門職がおりますので、助言や研修を新たに行う必要性をあまり感じていませんが、可能な範囲で研修会に出席させて頂きながら、連携を図っております。	まだまだ連携の不十分さを感じているので、より密にしていければと思っています。
㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		4		保護者様の多くは、望まない意見が多いので、今までは実施しておりません。今後は状況に合わせて対応していきたいと思っております。
㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2		3	機会が得られた場合は、参加しています。	まだまだ不十分と感じるため、より積極的に参加していきたいと考えています。
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時や連絡帳、活動時の写真、アンケート、面談等を活用し、子供さんの状況や課題等についての相互理解を深めています。	今後も、継続して参ります。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2		都度、子供さんに合わせた関わり方等の提案・助言をさせて頂いております。	まだまだ不十分と感じています。相談会等の開催も検討して参ります。
㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に、説明させて頂いております。	限りのある時間の中ではございますが、継続して、わかりやすい説明を心掛けて参ります。
㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			悩み等に対し、臨機応変に対応させて頂いております。	都度、対応させて頂いております。
㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4		父母の会の結成を望まない保護者様が多くいらっしゃいますので、状況に合わせて対応していきます。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		契約時に、相談・苦情対応窓口を説明しております。また、マニュアルを整備し、対応できるようにしております。	今後も継続し、都度、電話や面談などを実施して参ります。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			今年度は写真を活用し、都度活動報告を行うようにしてみました。また、利用児童と共に作成した会報を、事業所内に掲示しております。	年に数回、利用児童とともに会報を発行してきました。個人情報保護の観点から、配布は控えさせていただきました。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			契約時に、個人情報の取扱いについて説明しております。	職員への周知も、さらに徹底して参ります。退職者にも、個人情報を漏らさないよう、誓約書に署名してもらっています。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			個々の子供さんにとって、意志疎通のしやすい方法を検討し、導入しております。	かなり、バリエーションが増えてきました。今後も様々なツールを検討・導入していきたいと思っております。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3	感染症予防の観点から、なかなか地域の皆様を招待する行事を計画できずにいます。	感染症対策もありますので、現状では無理せず、地道に取り組んで参ります。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1		都度、内容を見直しています。	各種マニュアルを見直し、打合せ時や研修を通して、職員への周知を図っていきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			最低でも半年に1回、子供さん達と一緒に、避難訓練を行います。	感染症対策を考えながら、実施して参ります。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			リモートの研修会等に参加しております。	皆で資料を読み込んだり、事例検討等を通してさらに学びを深めていきたいと思っております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2		これまで、身体拘束が必要な例はありません。マニュアルは整備しております。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		アセスメント時に、保護者様より教えて頂いております。	その内容を厳守し、対応させて頂いております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハット事例集を作成し、共有しております。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。